



### 別棟に移動した4人組！（カンボジア孤児院）

皆さまの尊い御支援、御協力、本当にありがとうございます。

このニュースレターでもお伝え致しておりますが、8月下旬に引渡しが終わりました郡山の日本児童養護施設「アーモンドの枝」は、今開所に向けて準備中です。スタッフを初め、生活の為に家具や備品の供給が急がれるところかと思っております。省みる事計画から数年で具体的な建物の完成を見るにあたり、ただただ皆さまの多大なる御支援に感謝するばかりであります。日本の各地で、私共孤児院のために多くの方々がチャリティーコンサートを行っておられるお話も数多く聞き、本当に感謝にたえません。しかしながら、海外の孤児院からは毎回、運営費の増額をお願いされております。同じ額を送金しても、円安により、今まで買ったものが買えなくなるのですから当然といえば当然かもしれません。さらに、カンボジアに至っては、物価がかなり高騰しているものもあり、経費節約だけでは限界に近いものがあります。そのような理由から、さらに皆さまに御支援をお願いするばかりであります。どうかこれからも、子供たちのために、皆さまの御支援・サポート、よろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。高校卒業試験は大学入試も兼ねているそうなので、カンボジアの高校生にとっては大変難しく重要な試験となっています。その試験の結果は、3人が合格で残念ながら1人は不合格でした。4人中1人は、車両整備学校を希望し、10月1日より早速授業がスタートしています。2人は、法律関係と建築設計を希望していますので希望校を選択して、現在（9/10現在）手続きをしています。学校によって始まる時期が違い、1校は10月中旬から、もう1校は11月に入ってからです。後の1人は、希望する農業大学を断念し



学校に通学前の子どもたち！

たのですが、合格者とは違う条件で入学して学べる事がわかりましたので、現在手続きを行なっています。これには本人も大変喜んでいますが、高校を終えた4人は、これまでの場所から第2孤児院に移動しました。後の子ども達も、2ヶ月ほどの休みを終えて10月から新学期がスタートしました。これからの1人1人の新しい1年間の学びが祝福されるようにとスタッフ一同心から祈り願っています。

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様の礎の石フィリピン孤児院に対するご支援を心から感謝致します。10月は学校で心がわくわくする行事があります。それは「ユナイテッドネーション」という行事で、いろいろな国々の人々の扮装をし、楽しみます。中国人、エジプト人など様々です。子どもたちはとても張り切っています。10月は学年で3回目の定期予備試験があります。また10月は教師の方々に感謝する月でもあります。



スタッフのグレース(右)！

私たちのスタッフのグレースは教師をしながら、献身的にスアワンの子どもの世話をしています。彼女は礎の石孤児院の就学支援を受けている一人一人の子どもの、学業の面だけでなく、心のケア、日々の生活にも熱心に心を配っています。グレースに、またすべての教師の方々に祝福がありますように。どうぞ引き続きフィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援をよろしくお願い致します。

## ザンビア孤児院レポート

## シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。先日、カレブ(15才)が体調を崩し、治療のためにルサカ(首都)にやって来ました(孤児院のあるカセンガには病院がないため)



自撮りしているカレブ!

孤児院車両が故障中で身動きが取れず、最寄りのバス停まで腹痛に耐えながら休み休み数時間かけて歩き、バスに乗ってようやくルサカ第二孤児院に到着しました。そして夜間診療にかかり、診断を受けることができたのですが、やはり、カセンガ孤児院の車両の必要性を強く感じずにはいられません。現在1台の車両で、第一、第二孤児院を運営しており、その一台も多くの故障箇所を抱えているのですが、修理費用の捻出も厳しい状況にあります。幸い、今回カレブの病気は軽症で、2日後元気に帰って行きましたが、このような緊急事態にも対応できる体制づくりのために、車両購入に向けた、皆様のご協力をお願い致します。

## ブラジル孤児院レポート

## 松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。ブラジルでは雨期に入りつつあります。暑い時は先日41度になりました! ブラジルに戻ってしばらくしてから、胃腸の不調が起きました。周囲の方々の助けと薬局で適切なお薬をもらって、回復することができました。児童養護施設の働



日本食好きのカチアさん!

きに協力すると言ってくださっているカチアさんと、イエフダさんご夫妻が私の自宅に来てくださいました。カチアさんは日本に住んだことがあります。日本の食べ物が恋しいと言っておられたので、日本から買って来た彼女の好みの食べ物を差し上げました。イエフダさんは今度グアラペスの土地を見に行ってください予定です。さらに多くの方々に協力を要請していきたいと思います。

# ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

### 【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 児童養護施設（孤児院）設立支援のため

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

### 【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

## 「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：[ishizue@athena.ocn.ne.jp](mailto:ishizue@athena.ocn.ne.jp)

<http://www.cornerstone.or.jp/>